

議会だより

―条例の制定、一部改正案など可決―

平成28年第4回定例議会は、12月2日招集され、9日までの会期で開催されました。本定例会では、7名の議員が町政について一般質問が行われました。

なお、可決等された案件の大半は次のとおりです。

条例案件

◆吉野町農業委員会の委員及び吉野町農地利用最適化推進委員の定数を定める条例を制定することについて (可決)

◆吉野町農業委員会の委員の定数条例を廃止することについて (可決)

農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、農業委員の選出方法等の変更及び遊休農地の発生防止や担い手への農地集積を進めるための農地利用適正化推進委員の新設並びに各委員の報酬等を定めるために条例の制定・廃止が行われました。

◆吉野町課設置条例の一部を改正することについて (可決)

社会情勢の変化、多様化する住民ニーズ及び新たな行政課題に対応し、政策調整機能の強化並びに地域住民自治活動の支援体制を充実させるため、総合政策課と協働推進課を統合すると共に総務課、財務課及び総合政策課の分掌事務の一部を変更するため条例の一部改正が行われました。

◆吉野町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正することについて (可決)

平成28年の人事院勧告により、国家公務員の給与と改定に準じて、本町の一般職の職員の給与を改正すると共に、職員の休

暇に関し、介護時間を休暇の種類に追加する等の条例の一部改正が行われました。

◆吉野町税条例等の一部を改正することについて (可決)

町税条例に関係する地方税法及び所得税法等の関係法令の一部改正に伴い、法人住民税及び個人住民税に関する延滞金計算期間の見直し、特定一般用医薬品等を購入した場合の医療費控除の特例制度の創設、利子所得及び配当所得等に関する特例の整備等のため条例の一部改正が行われました。

◆吉野町国民健康保険税条例の一部を改正することについて (可決)

所得税法等の一部を改正する法律等の法令改正に伴う改正、並びに国民健康保険税の収支の改善を図るための税率の改正をするため条例の一部改正が行われました。

◆吉野町をきれいにする条例の一部を改正することについて (可決)

バーベキュー等でのごみ及び悪臭等の発生による環境破壊を防止し、町民の快適な生活と自然環境を守り、ごみのない美しいまちづくりを目指すため、バーベキュー等の許可区域の創設等に関し条例の一部改正が行われました。

◆吉野町水道事業の設置に関する条例の一部を改正することについて (可決)

◆吉野町簡易水道事業の設置に関する条例の一部を改正することについて (可決)

簡易水道事業のうち吉野山簡易水道が上水道事業に統合されることに伴い、給水人口及び1日最大給水量を改正及び関係条例について所要の整備をするため条例の一部改正が行われました。

◆吉野町水道事業給水条例の一部を改正することについて (可決)

◆吉野町簡易水道事業給水条例の一部を改正することについて (可決)

吉野山簡易水道が上水道事業に統合されることによる上水道事業の給水区域を変更すること、並びに全ての水道事業が統一されることにより上水道事業の水道使用料を減額改定し、他の簡易水道の料金及び給水分担金を上水道事業と同額に改めるため条例の一部改正が行われました。

予算案件

◆平成28年度吉野町一般会計補正予算(案)第4号について (可決)

既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ6,002万4千円を追加し、総額58億6,475万5千円と定めました。

主な歳入の補正は、経済対策臨時福祉給付金に関する補助金及び繰越金の増額で、主な歳出の補正は、備品購入費(公用車ドライブレコーダー設置費)、経済対策臨時福祉給付金、地域農業支援事業(新規就農者への青年就農給付金)、町道管理事業(地元発注工事に対する土木工事補助金)、教育振興総務事業(こども園と小学校の接続期カリキュラム研究費)の増額、並びに新規採用職員及び人事院勧告を踏まえた給与と改定等に伴う人件費補正です。

◆平成28年度吉野町国民健康保険特別会計補正予算(案)第2号について (可決)

既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ92万9千円を追加し、総額15億3,440万4千円と定めました。

主なものは、平成27年度事業の精算に伴う国庫補助金等返還金の増額補正等です。

◆平成28年度吉野町介護保険特別会計補正予算(案)第3号について (可決)

保険事業勘定の既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ110万円を追加し、総額13億4,755万8千円、サービス事業勘定の既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ91万1千円を追加し、総額619万4千円と定めました。

主なものは、介護事業所廃止に伴う補助金返還金、介護予防支援事業(新予防給付ケアマネジメント事業委託料)の増額及び人事院勧告を踏まえた給与と改定等に伴う人件費補正です。

◆平成28年度吉野町簡易水道事業特別会計補正予算(案)第2号について (可決)

既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ18万2千円を追加し、総額10億842万8千円と定めました。

内容としては、人事院勧告を踏まえた給与と改定等に伴う人件費補正です。

◆平成28年度吉野町下水道事業特別会計補正予算(案)第3号について (可決)

既定の予算総額に、歳入歳出それぞれ12万4千円を追加し、総額2億5,127万4千円と定めました。

内容としては、人事院勧告を踏まえた給与と改定等に伴う人件費補正です。

◆平成28年度吉野町水道事業特別会計補正予算(案)第3号について (可決)

収益的支出を10万円及び資本的支出を6万円の増額補正で、人事院勧告を踏まえた給与と改定等に伴う人件費補正です。

要望等

◆六田自治会会長 梅本 嘉彦 氏からの「太陽光発電施設建設に伴う要望」について (採択)

その他の案件

◆奈良県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び奈良県市町村総合事務組合規約の変更に
ついて
(可決)

西和衛生試験センター組合の解散に伴い、奈良県市町村総合事務組合から西和衛生試験センター組合を脱退させること及び当該一部事務組合の脱退に関して奈良県総合事務組合規約を変更するためのものです。

◆奈良広域水質検査センター組合を組織する市町村の数の増加及び奈良広域水質検査センター組合規約の変更
について
(可決)

新たに7町を奈良広域水質検査センター組合に加入させること及びその7町の加入に関する奈良広域水質検査センター組合規約の変更をするためのものです。

◆その他

議員派遣について、各委員会の所管事項に関する閉会中の継続審査について議決されました。

一般質問

次のとおり一般質問が行われました。

◆上瀧 義平 議員から

・いのちが輝き笑顔あふれる吉野町とは

◆数坂 眞佐 議員から

・福祉で町づくりについて

・住民が主人公の町づくり

・元気な吉野町のために

◆野木 康司 議員から

・今後の住宅施策について

◆大村 陽 議員から

・公民館、集会所、自治会館の維持管理について

・町の開発事業について

◆中井章太 議員から

・仮称「県フォレスト・アカデミー(吉野林業大学構想)」について

・太陽光発電事業の環境・景観保全について

◆辻本 茂 議員から

・「吉野町での暮らしについての幸せとは？」について

・「有害鳥獣対策」について

・「太陽光発電施設」について

◆西澤 巧平 議員から

・日本一の子育て支援について

それぞれ質問が行われ、町長、教育長及び担当参事が答弁を行いました。

新春恒例 出初式

消防団員の規律士気を高揚すると共に消防技術を錬磨し、有事における消防機能の発揮に万全を期することを目的とした新春恒例の吉野町消防団出初式が1月8日吉野小学校にて、また奈良県消防協会吉野支部連合出初式が同月15日川上村にて盛大に行われました。

出初式の席上、次の方々が表彰等を受賞されました。
【敬称略】

◆吉野町長表彰

上林孝司(龍門)、北村豊彦(上市)、松田有史(国栖)、辻 庸介(中荘)、新谷安徳(吉野)

◆吉野町消防団長表彰

水本充洋(吉野)、南 典孝(龍門)、吉田大亮(国栖)、三浦秀明(中竜門)、辻内貴志(上市)、北本敏行(中荘)

◆吉野警察署長感謝状

東 直哉(龍門)、和田 洋(国栖)、小崎真太郎(中竜門)、共田陸史(中荘)、長谷川義尚(上市)、石井峰照(吉野)

◆奈良県知事表彰

乾 幸作(上市)、松島成憲(中荘)、辻内正誠(中竜門)、藤裏和弘(吉野)、森本之幸(龍門)

◆奈良県消防協会 協会長表彰

上田泰次(龍門)、橋本晃明(吉野)、辻本篤人(上市)、泉岡宜樹(中荘)、岸浦三浩(中竜門)、松場信吾(国栖)

◆奈良県消防協会吉野支部 支部長表彰

南谷茂男(龍門)、辰田正仁(国栖)、田中康哲(龍門)、山口靖生(吉野)、西中春雄(中竜門)、福本昌広(吉野)、垣本浩良(吉野)、向井 啓(上市)、南 雅樹(上市)、大西真一(国栖)、涌田 潤(中荘)、植仲良視(中荘)、今井孝則(龍門)、榎谷敦史(中竜門)

また、昨年度吉野町消防団を退職された方々に、永年の功績を称え消防庁長官報償が贈られました。

◆消防庁長官報償

〈1号報償〉

小林 晃(中竜門)、峠谷 明(中竜門)、辻 万里(上市)、新 秀明(龍門)、上田秀幸(中荘)、故阪本由文(中竜門)

〈2号報償〉

永井克典(吉野)、佐藤 透(中竜門)、中野勝己(龍門)、前川和彦(中荘)、水本貴則(中竜門)

殿川小水力発電研究会が「あしたの暮らし賞」受賞



左より北岡町長、吉村会長、竹内副会長

独自の発想でまちづくりに取り組む団体などを表彰する「あしたのまち・くらしづくり活動賞」で、殿川小水力発電研究会(会長・吉村耕治氏)が主催者賞を受賞し、12月7日役場を表敬訪問されました。

殿川小水力発電研究会は平成24年結成。災害時に孤立しがちな過疎地の集会所に、地域の特性を生かし手作りで電力を供給しようとする試みが評価され今回の受賞となりました。研究会副会長である竹内自治会長は「殿川は平成29年に開拓70周年を迎えます。これがきっかけで、人が集まり村おこしになれば」と語られました。